

2. 報告事項

令和元年度事業報告及び公益目的支出計画実施状況について

(1) 令和元年度事業報告書

【全般】

本協会は、京都府知事の認可を受け、平成25年度以降、一般社団法人への移行法人として、公益目的支出計画に則り事業の執行と法人運営を行っておりますが、令和元年度をもって7ケ年度が終了いたしました。

令和元年度は、4年目を迎えた「舞鶴のさかな提供店制度」をベースとして、各種イベントに参加して「舞鶴のさかな」をPRするとともに、舞鶴市からの委託を受け、春夏シーズン及び秋冬シーズンにプレゼントキャンペーンを実施したほか、「舞鶴かに」の大阪市内の百貨店でのPRなど市外においても「舞鶴のさかな」と「舞鶴のさかな提供店」をPRしました。

また、新たに「京鯖」のPRのために「ファムトリップ」を実施するなど「魚の街まいづる」のイメージを更に向上させることを目標として、舞鶴市や市内の水産関係団体、観光協会などと連携し、積極的に事業に取り組みました。

このように魚の街まいづるのPR活動を中心に、約270万円の実施事業(公益事業)を実行し、本市における水産業の振興と観光客誘客の一翼を担いました。

その結果、公益目的支出計画の進捗は、7年経過後で、公益目的財産額1,083万円のうち71%を執行し、計画より9.3ポイント上回る状況で推移しています。

事業の概要は下記のとおりです。

【実施事業(公益事業)】

季節ごとに新鮮で多種類の水産物が集積する本市において、「魚の街まいづる」と「舞鶴のさかな」の更なるイメージアップを図るため、舞鶴市や(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社舞鶴地域本部(舞鶴観光協会)等と連携し、PR活動を市内外において実施しました。

また、「舞鶴のさかな」に関する消費拡大と魚食普及を「地産地消」と食育の立場から推進しました。

①水産物の消費拡大と食育の推進に関する事業

魚の街まいづるPR事業、地産地消推進事業及び情報発信事業を実施し、「舞鶴のさかな」の消費拡大に資するPR、「地産地消」、食育の推進を目的として事業を実施しました。

〔主な取り組み〕

- 「舞鶴のさかな提供店制度」の運営とプレゼントキャンペーン等PRの実施
- ブランド水産物「舞鶴かに」PR業務の実施
- 舞鶴のさかな「京鯖」ブランド化推進業務の実施
- 「舞鶴のさかな」ロゴマークと愛称「うおづるくん」を活用したPRの実施
- 東京都内の一流レストランのシェフに対し、「舞鶴のさかな」をPRした「シェフマッチング」のフォローとして、28年度以降継続して食材サンプルを提供
- 保育園等において「舞鶴のお魚出前講座」を実施
- 「舞鶴のさかな」に関する報道機関への情報提供、ホームページやFacebookを使った情報の発信

②水産流通加工業等の振興に関する調査及び研究事業

水産流通加工業等の振興に資するブランド戦略やPR戦略等に関する調査研究を実施しました。

〔主な取り組み〕

- 「舞鶴おでん」PR戦略を調査するため、京都市中央卸売市場「鍋まつり」に出展
- 「京鯖」ブランド化戦略のため、「京鯖まつり」を開催

【その他事業(収益事業)】

舞鶴水産会館の運営を行い、適切な管理運営に努めました。

また、収益の一部を実施事業を実施するための財源として、実施事業会計へ繰り入れました。

(2) 令和元年度事業報告附属明細書

I 実施事業(公益事業)会計

(1) 水産物の消費拡大と食育の推進に関する事業

舞鶴のさかなの消費拡大に資するPRや食育を進めるための事業を実施した。

【魚の街まいづるPR事業】

(事業費予算額) 1,990,000 円

(事業費決算額) 1,884,565 円

(1) 「舞鶴のさかな提供店」制度の運用

(概要)

「舞鶴のさかな」を使用した料理や産品を積極的に提供する飲食店や小売店を「舞鶴のさかな提供店」に登録し、来客者の満足度と舞鶴の食のブランド力の向上を図り、併せて「魚の街まいづる」のイメージの定着を図ることを目的として、平成28年度に「舞鶴のさかな提供店」を創設した。4年目となる令和元年度は、登録店32店と一体となって各種PRキャンペーンを実施するとともに、登録各店のサービス向上に取り組んだ。

(内容)

① PRキャンペーンの実施

- ・プレゼントキャンペーン【市受託事業】
- ・プレゼント内容 …宿泊補助券1万円分(5名×2回、宿泊を希望しない当選者2名に半額程度の代替品を送付)、提供店利用補助券5千円分(10名×2回)、水産加工品セット(舞鶴かまぼこ等)(10名×2回)
- ・応募はがき付きパンフレット及びポスターの作成
作製枚数【春夏版】【秋冬版】パンフレット各20,000部、ポスター各100部
- ・パンフレット配布先 …登録店舗32店、市内ホテル9軒、市内観光施設、道の駅舞鶴港とれとれセンター、新名神高速道宝塚北SA(上下)、舞鶴若狭自動車道西紀SA(下り)、京都縦貫道道の駅「京丹波 味夢の里」、京都縦貫道由良川PA(上下)、京都総合観光案内所「京なび」(京都駅)、博多港ターミナル(日本海周遊クルーズ船の前港地)、ツーリズムEXPO大阪(旅行博)、梅田地下街(JR西日本・北近畿広域観光連盟スペース)
- ・応募結果 …春夏123件、秋冬111件

② 「舞鶴のさかな提供店」の登録認定

- ・令和2年度の登録店舗の募集を2月1日から開始し、登録認定委員会を3月18日に開催
- ・応募のあった37店(継続32店、新規5店)を提供店に認定

(2) ブランド水産物「舞鶴かに®」PR業務

(概要)

舞鶴市のブランド水産物「舞鶴かに」のブランディングを推進するために、このPRキャンペーンをマスコミの取材等市内外で戦略的に展開した。また、同じ季節のブランド魚「京鯖」を同一マップにまとめて作成し、PRを展開した。

(内容)

- ・「舞鶴かに&京鯖」マップの作成 (30,000 部) と配架、「舞鶴かに」ポスター (150 枚) 作成
新名神高速道宝塚北 SA (上下)、舞鶴若狭自動車道西紀 SA (下り)、京都縦貫道道の駅「京丹波味夢の里」、京都縦貫道由良川 PA (上下)、京都総合観光案内所「京なび」(京都駅ビル)、
「舞鶴かに」抽選会@大阪モーターショーで配架・配布
- ・「舞鶴かに」解禁日 初セリ PR (11 月 6 日 京都府漁業協同組合舞鶴市場)
- ・「舞鶴かに」試食取材会開催 (11 月 6 日 舞鶴港とれとれセンター)
- ・「舞鶴かに」PR キャラバン実施 (11 月 6 日 大阪市 阪神百貨店)
- ・「舞鶴かに」PR 活動 (11 月 30 日 京都市 京都府農林水産フェスティバル)

(3) 舞鶴のさかな「京鯖」ブランド化推進業務

(概要)

舞鶴のさかな「京鯖」を市内外でブランド化推進キャンペーンを展開することにより、京都府のプライドフィッシュである「京鯖」のブランディングを進めた。同じ季節の「舞鶴かに」を同じマップにまとめ作成し、PR を展開した。

(内容)

- ・「舞鶴かに&京鯖」マップ作成 (30,000 部) と配架、「舞鶴かに」ポスター (150 枚) 作成
新名神高速道宝塚北 SA (上下)、舞鶴若狭自動車道西紀 SA (下り)、京都縦貫道道の駅「京丹波味夢の里」、京都縦貫道由良川 PA (上下)、京都総合観光案内所「京なび」(京都駅ビル)、
「舞鶴かに」抽選会@大阪モーターショーで配架・配布
- ・「特選京鯖」初出荷取材会開催 (11 月 28 日 舞鶴港とれとれセンター)
- ・冬の味覚「特選京鯖」ファミトリップの実施 (12 月 10 日 旅行誌等 9 社 11 名参加)

(4) 魚食普及事業【市補助事業】

(概要)

「舞鶴のさかな」ロゴマークと愛称「うおづるくん」を活用した PR 活動と市内に於いて魚食普及活動を行った。

(内容)

- ・「舞鶴のさかな」ロゴマークに係る商標登録の継続
- ・「うおづるくん×チョコキまる」シールを 3,000 枚制作
- ・「ノドグロ」初セリ・試食取材会開催 (9 月 2 日 舞鶴港とれとれセンター)

(5) 漁業・漁村広告宣伝事業 (シェフマッチング・フォローアップ)【市補助事業】

(概要)

「舞鶴のさかな」のブランディングのために、市が実施した食のブランド力向上事業のシェフマッチング (首都圏の情報発信力のある料理長やシェフへの訪問と食材の説明) において、繋がりが出来たシェフに対し、四季折々のサンプルを送付し、その評価を求めた。

(内容)

7 魚種を 7 名の料理人に提供。4 魚種 (エッチュウバイ、スズキ、ノドグロ及びブリ) について継続的な利用があった。

【地産地消推進事業】	
	(事業費予算額) 31,000 円
	(事業費決算額) 49,639 円
(概要) 市内において、地産地消を推進し、併せて魚食の普及と「舞鶴のさかな」のPRを実施するために、「まいづるのお魚出前講座」を開催するとともに、魚の調理実習の際に「舞鶴のさかな」を斡旋した。 (内容) ①認可保育所「タンポポハウス」で、ニギスの手開き、団子づくり (5月29日) ②舞鶴市立うみべのもり保育園で、お魚ふれあい体験 (6月12日) ③舞鶴市食生活改善グループが実施した魚の調理実習に食材を斡旋 (3回)	
【情報発信事業】	
	(事業費予算額) 237,000 円
	(事業費決算額) 304,131 円
(概要) 「舞鶴のさかな」に関する情報を報道機関への情報提供するとともに、本協会の「ホームページ」や「Facebook」へ掲載した。 (内容) ①「丹後の海 育成岩がき」、「丹後とり貝」の出荷前の海上取材 (4月15日 舞鶴湾) 及び出荷直後の試食取材会の開催 (4月18日 舞鶴港とれとれセンター) ②底びき網解禁後「ノドグロ」試食取材会の開催 (9月2日 舞鶴港とれとれセンター) ③ホームページの充実を図るために、リニューアルのための計画を策定した。	

(2) 水産流通加工業等の振興に関する調査及び研究事業

水産流通加工業等の振興に資するPRブランド戦略やPR戦略等に関する調査研究を実施した。

【調査研究事業】

(事業費予算額) 447,000 円

(事業費決算額) 459,728 円

(1) 「舞鶴おでん」PR戦略調査業務

(概要)

京都市内における「舞鶴産水産加工品」に対する消費者の認識を把握し、今後のPR戦略とマーケティングの参考とするため、舞鶴かまぼこ協同組合に委託し、調査を実施した。

(内容)

11月23日に京都市中央卸売市場で開催された「鍋まつり」(入込: 60,000 人) へ出展し、「舞鶴おでん」を500食販売するとともに、整理券として通販「ふるさと舞鶴便」の案内チラシ(DM用封筒入り) 500セット超を配布した。その結果、「ふるさと舞鶴便」の新規申込が15件あり、京都市での「マーケットの可能性有り」の評価を得た。

(2)「京鯖」ブランド戦略調査業務

(概要)

道の駅「舞鶴港とれとれセンター」において、「京鯖」のブランド化の一環として、イベント「まいづる京鯖まつり」の初開催にあたり、メインテーマである「京鯖」の名称の露出・拡散と当該イベントの開催告知について、5府県660 万世帯を聴取エリアとするラジオ放送（FM 京都）の利用等効果的ブランド戦略手法を舞鶴さかなセンター協同組合に委託して調査・研究を行った。

(内容)

「まいづる京鯖まつり」を初開催の告知を活字とは異なる媒体「ラジオ」を活用して、当該イベント開催前の約3週間、SPOT 放送によりイベントの開催告知を行い、効果的に「イベントの開催」のみならず、「京鯖」・「冬が旬」・「産地舞鶴」・「舞鶴港とれとれセンター」等のキーワードについて、広く情報を拡散することができた。

なお、イベントは、12月13日(金)に開催し、100 人分×2 回分の「刺身」「炙り」を提供し、「京鯖」のPRを行った。

(3)一斉ゴミ拾い「海と日本 PROJECT」

(概要)

日本財団や国土交通省が実施する「海と日本プロジェクト 海の日全国一斉アクション！海でつながるゴミ拾い」に賛同し、舞鶴漁港の清掃を実施した。

(内容)

- ・京都府漁協、京都府信漁連、舞鶴水産流通協同組合から「海の日」前後に61 名が参加。
- ・回収ゴミ袋数：41 袋

(諸手続き)

① 舞鶴市水産業振興補助金関係

- ・ 交付申請：漁業・漁村広告宣伝事業（シェフマッチングフォローアップ）分(4月1日、50,000円)
：魚食普及事業分(4月1日、100,000円、変更3月31日81,955円)
- ・ 交付決定：漁業・漁村広告宣伝事業（シェフマッチングフォローアップ）分(4月1日、50,000円)
：魚食普及事業分(4月1日、100,000円、変更3月31日81,955円)
- ・ 実績報告：漁業・漁村広告宣伝事業（シェフマッチングフォローアップ）分(3月16日、50,000円)
：魚食普及事業分(3月31日、81,955円)

②業務委託関係

(ア)舞鶴のさかなPR事業「舞鶴のさかな提供店キャンペーン事業」

事業区分：事業1(春夏キャンペーン)、事業2(秋冬キャンペーン)及び事業3(プレゼント発送及び精算)

実施期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

委託金額：701,097円

完了報告：事業1(4月25日、196,344円)、事業2(9月30日、308,160円)、事業3(3月31日、196,593円)

(イ)ブランド水産物「舞鶴かに®」PR業務

業務概要：舞鶴市のブランド水産物「舞鶴かに」のブランド化を推進するために、このPRキャンペーンをマスコミの取材等市内外で戦略的に展開した。

実施期間：令和元年10月1日～令和元年11月7日

委託金額：130,102円

(ウ)舞鶴のさかな「京鯖」ブランド化推進業務

業務概要：舞鶴のさかな「京鯖」を市内外でブランド化推進キャンペーンを展開することにより、京都府のプライドフィッシュである「京鯖」のブランド化を進めた。

実施期間：令和元年10月1日～令和2年3月31日

委託金額：474,523円

II その他事業(収益事業)会計

舞鶴水産会館の運営に関する事業

舞鶴水産会館の適正な管理・運営を行い、得られた収益を実施事業会計へ繰り入れ、実施事業会計の財源とした。

【水産会館賃貸事業】

(事業費予算額) 783,000 円

(事業費決算額) 577,951 円

(主な内容)

- ①法人税等確定申告及び納税(5月28日、舞鶴税務署等、平成30年度分280,700円)
- ②火災保険継続加入(9月5日、京都府漁協、100,000円)
- ③漁港施設の使用等の期間更新許可申請書提出(1月20日、京都府水産事務所、令和2年4月1日～令和3年3月31日、使用料100,200円、3月31日許可)
- ④実施事業会計へ500,000円繰入(4月10日、予算額と同額)
- ⑥会館修繕等預金として利息451円を繰入(3月15日、定期預金残高5,312,070円)

III 法人会計

法人運営管理

一般法人法、定款及び公益法人会計基準に則り、法人の運営・管理を行った。

(管理費予算額) 526,000 円

(管理費決算額) 384,186 円

(会議関係)

- ①監査会(5月10日)
平成30年度監査
- ②第1回理事会(5月10日)
平成30年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書の承認について
第7回定時総会について 他
- ③第7回定時総会(5月24日)
平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件
役員改選の件
- ④第2回理事会(5月24日)
会長及び副会長の選任について

⑤第3回理事会（10月11日）

令和元年度事業執行状況について

令和元年度今後の事業予定について

⑥第4回理事会（2月21日）

令和元年度事業執行状況について

令和2年度事業計画及び予算案について

⑦第5回理事会（3月27日）

令和元年度事業執行状況について

令和2年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認について

（諸手続き）

①令和元年度会費請求(28 会員宛、456 千円全て納入)

②理事変更登記及び代表理事の登記(6月6日、京都地方法務局)

③公益目的支出計画実施報告書提出（6月21日、京都府政策法務課）

④貸借対照表等公告（7月2日、ホームページ掲載）

⑤実施事業会計へ 309,343 円を繰入(8月8日、予算額 30,000 円)